

令和 8 年度 第 1 回甲府市社会福祉審議会 健康・保健専門分科会

開催日時：令和 8 年 6 月 23 日（火）18 時 30 分～19 時 30 分

出席委員：6 人

欠席委員：4 人

事務局：保健衛生総室長、生活衛生室長、地域保健課長、健康保険課長、母子保健課長、健康政策課長、外一般職 8 人

担当課：保健衛生部 健康政策課

傍聴：なし

次 第：

1 開会

2 新任委員紹介

3 職員紹介

4 会長あいさつ

5 議事

(1) 保健計画に関する事業の進捗管理及び評価について

(2) その他

6 報告

(1) 歯・口腔における健康づくりの推進に関する基本的事項の取組状況について

7 閉会

会議内容

1 開会

事務局より開会の挨拶を行った。

2 新任委員紹介

事務局より新任委員の紹介を行った。

3 職員紹介

事務局より職員の紹介を行った。

4 会長あいさつ

会長あいさつを行った。

5 議事

(1) 保健計画に関する事業の進捗管理及び評価について

事務局より、「保健計画に関する事業の進捗管理及び評価」について説明を行った。

【委員】

2歳児歯科健診や3歳児健診で、う歯が認められた児のうち、未受診・未処置のままとなっている児はどのくらいの割合か。早期から継続的な歯科受診につなげる支援を実施することが、小学校入学後のう歯保有率の低下につながると考える。

【事務局】

2歳児歯科健診、3歳児健診及び1歳6か月児健診において歯科健診を実施しており、健診受診率は90%台後半と高い状況だが、う歯保有率は全国と比較して高い傾向にある。健診でう歯が確認された児には医療機関への受診勧奨を行っているが、未受診者数については把握していない。

今後も乳幼児健診を通じて保護者に対する仕上げ磨きなどの口腔ケア指導を継続し、う歯保有率の低下に努めていく。

【委員】

乳幼児の口腔内の健康状態は、行政や歯科医療関係者による予防・啓発の成果もあり、過去と比較して大きく改善している。

健康上の課題は家庭の生活環境とも深く関係しており、口腔内の問題を指摘するだけでは受診や生活改善につながらない場合もあるため、継続的な働きかけが重要である。

甲府市の歯科健診では、より丁寧な診察や受診行動につなげ、切れ目のない歯科保健・健康管理体制の構築を目指している。

【委員】

こうふ健康アプリについて、ダウンロード数や活用状況を教えてほしい。アプリを有効活用して健康づくりの周知等ができると効果的だと思う。

【事務局】

こうふ健康アプリは令和5年11月に開始し、令和8年3月末時点のダウンロード数は2,439人である。毎月利用する継続率は約20%程度だが、利用を再開した人も含めると現在の利用者は約900人である。健康情報の通知やポイント付与による利用促進に取り組むとともに、食事を撮影するだけで記録できる機能を導入するなど、利便性の向上を図っている。

【委員】

大腸がん検診の陽性者のうち、大腸内視鏡検査を受診した割合は把握しているか。大腸がんは男女ともに増加しており、精密検査である大腸内視鏡検査は下剤の服用など受診者の負担が大きいためか、便潜血検査で陽性となっても、特に2回のうち1回だけ陽性だった場合は精密検査を受けない人が他のがん検診より多いのではないかと懸念している。

【事務局】

令和6年度実績では、大腸がん検診受診率は11.73%、精密検査受診率は66.7%だった。

精密検査対象者については、医療機関から受診報告がない場合、職員が電話で受診状況を確認するとともに、未受診者に対して受診勧奨を実施している。

【委員】

便潜血検査陽性者には、大腸内視鏡検査の受診を強く推奨している。大腸内視鏡検査は、大腸がんの発見だけでなく、がんの原因となり得る大腸ポリープを発見・切除し、将来のがんを予防できる点に大きな意義がある。近年は大腸がんが増加していることから、引き続き受診促進に努める必要がある。

(2) その他

特になし。

6 報告

(1) 歯・口腔における健康づくりの推進に関する基本的事項の取組状況について

事務局より、「歯・口腔における健康づくりの推進に関する基本的事項の取組状況」について説明した。

質疑等なし。

7 閉会